

報道関係者各位
プレスリリース

2026年2月5日
三和エナジー株式会社

国内最大級のバイオ燃料製造拠点

「岸和田バイオプラント」大阪府岸和田市に開所

三和エナジー株式会社(所在地:神奈川県横浜市、代表取締役社長:高松克行)は2026年2月5日、大阪府岸和田市において、国内最大級となる商用バイオ燃料製造拠点「岸和田バイオプラント」を開所いたしました。本プラントは、使用済みの天ぷら油などの廃食油を原料とした環境配慮型燃料「バイオ燃料」を製造する施設で、2024年に開所した新狭山バイオプラントに続く、三和グループとして第2号のバイオプラントとなります。



三和エナジー岸和田油槽所

■ 脱炭素社会の実現に向けて

日本政府は、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、中間目標として2030年までに温室効果ガスを46%削減することを掲げています。こうした中、既存のエンジンや設

備を活用しながら CO₂削減が可能な「バイオ燃料」は、即効性の高い脱炭素手段として注目を集めています。

バイオ燃料は、植物由来の廃食油を原料とするため、燃焼時に排出される CO₂と、原料となる植物が成長過程で吸収した CO₂が相殺される「カーボンニュートラル」の考え方に基づく燃料です。軽油や重油に一定割合で混合することで、混合比率に応じた CO₂排出量の削減が可能となります。



■ 岸和田バイオプラントの特長

岸和田バイオプラントは、敷地面積 10,500 平方メートル、蒸留機 20 台を備え、新狭山バイオプラントの約 3 倍の蒸留能力を有する国内最大級の商用バイオ燃料製造拠点です。

敷地内タンクおよび岸和田油槽所の備蓄タンクを合わせ、合計 3,421KL の燃料・原料を備蓄可能。さらに、配達業務を担うデリバリーセンターを併設し、陸上輸送に加えて海上出荷設備も整備しています。

2025 年 12 月には、東亜建設工業株式会社様の作業船へのバイオ燃料供給を実施するなど、船舶分野への供給にも対応しています。

■ サーキュラーエコノミーの推進と今後の展望

三和グループは、自治体や民間企業と連携し、廃食油の回収から燃料製造、再供給までを一体で行う「サーキュラーエコノミー（循環型社会）」の実現に取り組んできました。

今後は、新狭山・岸和田の両バイオプラントを起点に、全国各地への配達網の拡充を進めるとともに、軽油・重油とバイオ燃料を混合するブレンダーの設置を推進し、より広範囲で安定したバイオ燃料供給体制の構築を目指してまいります。

三和グループは、エネルギー供給を通じて社会の基盤を支える企業として、環境負荷低減と持続可能な社会の実現に向け、今後も取り組みを続けてまいります。

■弊社概要

商号：三和エナジー株式会社

代表者：代表取締役社長 高松 克行

本社事務所所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-15 新横浜センタービル 5 階

設立：1967 年 12 月 22 日

資本金：9,000 万円

URL：<https://sanwa-energy.com/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

三和エナジー株式会社

担当：環境事業部

TEL：045-548-8838

FAX：045-548-6638

営業時間：平日・土 8 時～17 時